

女性C Eとして

OKIクロステック株式会社

支社統括本部 第一支社

サポートサービス第一部 新宿サービス課

金 澤 春 花

入社からはや5年。私はカスタマーエンジニアとして金融系をメインに保守業務を行ってきました。入社したての頃は現場保守作業の作業内容を覚えたり、社会人としてのコミュニケーションの取り方や立ち振る舞いを学んだりと毎日が勉強の日々でした。

1年目のとある冬の日のお話です。その日は、ATMの保守作業を1人で任された日でした。既に自社のC E試験に合格し、何度か単独作業を行っていました。緊張はありましたが、いつも通り基本に忠実に、丁寧に作業をしようと意気込み現場へ向かいました。お客様先へ到着し受付を済ませた後、担当者の方に挨拶をし、機械の状況をお伺いしていました。お客様との会話の途中「女性だけどちゃんと機械直してくれるんだよね？」と、嘲笑うかのような言い方をされ衝撃を受けました。

私は怒りよりも悔しさでいっぱいでした。お客様には「頑張ります」と苦笑いを浮かべせながら返答をし、保守作業に入りました。女性だから大きい機械を治せないと思われた

のか、新人だから直せないと思われたのか。どちらにしても、直せないのではと思われたことに対し、言葉に表せないほどの悔しさを感じました。

この日から4年という月日が流れ、私は沢山の作業を通し多くの方々と携わってきました。わかったことは、このような経験をした女性保守員が少なくないということです。私がこの経験をしたことに意味があると思っています。今では、幸いなことに、お客様に顔を覚えていただけたり、感謝や応援のお声をかけていただいたりすることが増えました。ここまで成長することができたのは、あの日の悔しさがあったからだと思っています。次また同じような経験をした際は自信をもって堂々と「直せます。任せてください！」と笑顔で言えるように、知識を蓄え、技術を磨き日々精進していきたいと思います。また、女性でも活躍できるということをもっと沢山の方々に知っていただけるように今後も女性C Eとして頑張っていきたいと思います。